

秋田県農業法人協会 令和6年度事業計画

〔令和6年4月1日～令和7年3月31日〕

【活動方針】

我が国の基幹的農業従事者数は、116万人から今後20年で30万人程度へ、平均年齢も68歳以上と高齢化に加え、世界的な気候変動による食料生産の不安定化と世界人口の増加等に伴い、安定して安価な食料輸入が続かなくなる懸念もあり、食料の安全保障の在り方が大きな転換期となっている。

このため、国では食料安全保障の抜本的な強化に向けて、食料・農業・農村基本法の検証・見直し作業を進め、今通常国会には同法の一部改正法案をはじめ、食料供給困難事態対策法案など提出されており、今後の審議を注視する必要がある。

一方、本県の認定農業法人は884法人と増加していますが、役員等の高齢化が進行しており、県では、経営力の高い意欲ある経営体が地域農業の担い手として発展するよう、経営規模の拡大や複合化・多角化等の経営改善を支援するとともに、円滑な経営継承や経営基盤の強化へサポートするとしています。

こうした中、我々は日本農業法人協会会員として、県内880余りの農業法人のトップランナーとの自覚を持ち、創意工夫による農業経営を展開し農業を職業として誇り、若者にとって夢や希望を託せる魅力ある産業に発展させる必要があります。

今年、全国初の農業法人組織として設立30周年を迎え、関係機関等との業務連携を始め賛助会員の皆様の協力を通じ、会員の多様な経営スタイルに合わせた経営安定・発展及び経営改善に繋げるとともに、全国や県内の仲間の情報ネットワークを駆使して、農業法人として地域貢献・社会貢献も視野に、会員相互の研鑽活動や連携・強化を図る活動を展開します。

【主要活動】～農業界が職業として若者に選ばれる第1位の業界に～

- 1 食・農地の守り手として、会員の経営力強化と相互研鑽
- 2 賛助会員、協定締結関係機関等との連携・協調
- 3 日本農業法人協会秋田県支部として、地元貢献及び会員拡大

《30周年記念式典・行事や北海道・東北農業法人WEEK2024in あきた開催》

【活動内容】

※ 感染症の感染拡大状況等により変更等の場合あり。

1 会議の開催

(1) 30周年記念・総会（第31回）

令和6年度事業計画・予算や理事及び監事の選任等を決定するため、総会を開催す

る。併せて、総会記念講演を兼ねて農業経営者トップセミナーを開催する。

○期 日 6月18日(火)

○場 所 秋田市 ホテルメトロポリタン秋田

○出席者 来賓、会員、賛助会員

○内 容

《議事》

- ・ 令和5年度事業報告及び収支決算の承認の件
- ・ 令和6年度事業計画案・予算案の決定の件
- ・ 理事及び監事の選任の件

《記念講話、情報提供》

(2) 監査会

○期 日 4月8日(月)

○場 所 秋田市 協同組合秋田市民市場

○出席者 監事、会長

○内 容 令和5年度事業実施状況及び会計執行状況等について

(3) 役員会

事業計画の実施日程や内容を始め、会員拡大や活動スケジュールなどを検討するため、役員会を随時開催する。

また、「北海道・東北農業法人WEEK2024inあきた」(R6.8.27(火)~28(水))の開催に向け内容等を検討し万全を期す。

2 例会の開催

農林中央金庫秋田支店様との共催による専門家や先進農業法人による講演、会員や若手会員の経営事例の紹介をはじめ、会員の相互研鑽や情報交換・交流を図るため、例会を開催する。

併せて、会員以外の法人経営者や地区法人組織会員との交流を通じた組織活動の強化・活性化を図る。

○ 第1回 県南地区 7月23日(火)~24日(水) 仙北市

○ 第2回 県央地区 8月27日(火)~28日(水) 秋田市

※北海道・東北農業法人WEEK2024inあきた併会

○ 第3回 県北地区 12月上旬 大館北秋地区

3 セミナー等の開催

農林中央金庫秋田支店様や日本政策金融公庫秋田支店農林水産事業様等との共催により、農業法人の抱える課題解決への糸口を探るため、セミナー等を開催する。

(1) トップセミナー [農林中央金庫秋田支店様共催]

農林中央金庫秋田支店様との共催により、日本農業法人協会会員や全国で活躍する

農業経営者等を講師に迎えて、会員のトップマネージャーとしての経営管理能力及び生産技術の向上・発展に向けたセミナーを開催する。

○期 日 6月18日(火) 《総会終了後》

○場 所 秋田市 ホテルメトロポリタン秋田

○出席者 会員、賛助会員、若手会会員 ほか

(2) 農業経営持続化セミナー [日本政策金融公庫秋田支店様共催]

昨年度から日本政策金融公庫秋田支店様と共催し、若手会の「パートナー研修・交流会」と併会して、本県農業が抱える課題解決に向けて、持続的な発展に不可欠な従業員の定着率向上のための経営者の意識改革を図るため、研修・交流会を開催する。

○期 日 2月上旬

○場 所 秋田市

○出席者 会員、若手会会員 ほか

(3) パートナー研修・交流会 [若手会共催]

当協会若手会と共催し今年度は「農業経営持続化セミナー」との併会により、若手会会員や家族並びに従業員による相互研鑽や情報交換・交流を通じた農業経営の発展と組織活動の活性化を図るため、研修・交流会を開催する。

○期 日 2月上旬

○場 所 秋田市

○出席者 会員、賛助会員、若手会会員 ほか

4 生産・経営体質強化活動

本協会と協定を締結している機関・団体や農業経営アドバイザーと連携しながら、会員の生産力や経営体質の強化を支援するほか、体質強化手法等について検討する研究会を開催し、その結果を政策提言などに反映させる取組を行う。

また、関係機関・団体等が主催するビジネスマッチングやセミナー・フェア等へ積極的に参加し、経営管理能力の研鑽を図る。

(1) 事業提携

覚書や協定を締結した関係機関・団体と適宜関係者を交えて情報交換を行うほか、連携・協力に関する活動を実施する。

ア 農林中央金庫秋田支店との協力 【随時】

包括的パートナーシップ協定に関する覚書(H27.6)に基づき、円滑な金融対応や人材育成、販路開拓など、会員の経営支援に向けて活動する。

イ 秋田県農地中間管理機構との連携 【随時】

農地中間管理事業の活用促進に向け締結した事業連携協定(H28.7)に基づき、県農地中間管理機構から農地の紹介等を受けるなど、会員の円滑な農地の集積・集約に向けて活動する。

ウ 公立大学法人秋田県立大学との連携・協力 【随時】

県立大学と法人協会との連携・協力に関する協定（H29.9）に基づき、県立大学の研究成果の普及等を通じた会員の生産現場への支援強化や、経営力向上への連携、協力体制の構築に向けて活動するほか、新春放談会（R7.1）を共催いただく。

○ 第2回新1年生へ農業法人経営者からの講義 7月8日（月）12：50

○ 第10回情報交換会 10月下旬

○ 第4回学生（学部3年生、院1年生）との意見交換会 11月中旬

○ 秋田版スマート農業モデル創出事業コンソーシアム・構成員

【総会、研究会、幹事会、専門分科会、見学会ほか】

エ アドバイザーによる支援活動 【随時】

金田経営アドバイザー（秋田県立大学名誉教授）による、会員への経営課題の整理・助言など通じた経営力の強化を支援する。

（2）研究会・政策提言

生産・経営体質の強化に向けたマーケティングや経営改善の手法等について研究し、日本農業法人協会の行う政策提言に反映させるとともに、本県農業の施策の展開に向けて県や農業団体等と意見交換を行う。

ア 県農林水産部幹部との懇談会 8月上旬 秋田市

イ 全国農業協同組合連合会秋田県本部との情報交換会 11月上旬 秋田市

ウ 生産強化・経営強化研究会（新春放談会） 1月上旬 秋田市

〔県立大学様共催予定〕

エ 東北農政局と東北6県農業法人組織会長との意見交換会 2月下旬 仙台市

（3）販路拡大、交流・連携

農畜産物の利用促進と新たなビジネスの可能性を探るため、パートナーシップ協定を締結している農林中央金庫秋田支店をはじめとする賛助会員が主催するセミナー・ビジネスマッチング等や、関係機関・団体と行事を共催し積極的に参加する。

ア 第17回アグリフードEXPO東京2024 《(株)日本政策金融公庫主催》

「国産」にこだわり広域に販路拡大を目指す農業者や食品加工業者とバイヤーをつなぎ、ビジネスマッチングの機会を提供するプロ農業者たちの国産農産物・展示商談会に出展した会員を支援する。

◇ 8月21日（水）～22日（木） 東京都・東京ビッグサイト

イ 県産食材マッチング商談会2024

コロナ禍で販売機会の現状を打破するため、県産食品の販路開拓等を目指す農業者とバイヤー等との商談会に参加する会員を支援する。

◇ 7月11日（木） 9：30～16：00 秋田市・秋田テルサ

ウ 国内農業視察研修 《30周年記念行事》

更なる経営力強化に向けて、作業効率改善や新製品の情報収集などを行うため、視察研修を実施する。

◇ 1月下旬 場所：未定

エ 関係機関・団体との行事共催、交流・連携

◇ 大日本農会秋田支会研修会 [共催予定] 2月中旬 秋田市
同 視察研修会 8月28日(水) 秋田市
《WEEK視察を共催》

5 地域貢献・会員拡大活動

地域貢献の一貫として農業への就業希望者を受入れ、農業技術や経営管理能力を高めるための人材育成に取り組ほか、地域で活躍する農業法人を会員へ誘導する。

(1) 組織強化・会員拡大

会員以外の経営者との連携を強化するため、例会等への参加を呼びかけ交流を図るとともに、関係機関・団体等の催事に参加するなどして会員拡大を働きかける。

◇ 会員57経営体(法人54、個人3) 《R6.4.1現在》

(2) 若手会への支援

当協会若手会の会員が、日本農業法人協会が主催する次世代農業サミットや北海道・東北農業法人WEEK2024inあきたなどへ積極的に参加できるよう、経費の一部助成を目的に助成金(10万円)を交付するなど、若手会の自主活動を支援する。

(3) 雇用・人材育成

経営体質の強化に向けた人材育成と地域貢献の一貫として、国の新規就農者育成総合対策事業等を活用して農業への就業希望者を受入れるほか、会員で受入れが増えている外国人材の受入れ・共生に関しても検討する。

(4) 地域貢献・社会貢献活動 《30周年記念行事》

30周年を迎えるにあたり、農業法人の使命の一つである社会貢献・地域貢献活動の一環として、常設「子ども食堂」(秋田市)等へ食材提供を行い運営を支援する。

6 日本農業法人協会秋田県支部活動

日本農業法人協会の秋田県支部として、同協会が行う事業・諸行事に参加・協力し、全国の仲間との情報交換と相互研鑽を積極的に進める。

なお、各種会合は対面での開催を基本とするが、感染症の状況等により開催方法がWeb併用となる場合や、開催を中止する場合がある。

(1) 総会

○第47回 6月20日(木) 東京都

(2) 都道府県会長会議

○第30回会長会議 5月30日(木) 東京都

○第31回会長会議 2月13日(木) 東京都

(3) セミナー等

- 事務局会議 4月25日(木) 東京都
- 夏季セミナー 6月20日(木)～21日(金) 東京都
(終了後、自主研究会などを開催)
- 次世代農業サミット
 - 第13回 7月9日(火)～10日(水) 長野県内
 - 第14回 1月10日(金)～11日(土) 東京都・東京ビッグサイト
- 農業技術・連携革新フォーラム2025 2月～3月
- ファーマーズ&キッズフェスタ2025 3月1日(土)～2日(日)
東京都・代々木公園
- 春季大会・春季セミナー 3月13日(木)～14日(金) 東京都
(終了後、自主研究会などを開催)

(4) 都道府県組織等との連携

- 北海道・東北各県組織との連携強化をはじめ、全国の仲間との交流を促進してネットワークの拡大を図る。特に、北海道・東北ブロックWEEKの当番県として開催に万全を期すとともに、併せて30周年記念式典も開催する。
- 北海道・東北農業法人WEEK2024 in あきた 《30周年記念式典》
8月27日(火)～28日(水) 秋田市
 - 第21回東北・北海道農業法人協会会長・事務局会議 1月下旬

7 情報提供

関係機関・団体の主催する行事を会員へ広く周知するとともに、本協会ホームページで協会活動のPRや会員個々のホームページとのリンク、FCPシートの公開による新たなビジネスチャンスの創出等に取り組む。

また、昨年度からはSNSを活用した会員同士の交流場《お米LINE〔藤岡副会長〕》を運用しており、情報交換を行う。

併せて、日本農業法人協会ではSNS (Facebook、LINE) で会員の活動や成果等を積極的に情報発信していることから、当協会や会員の活動情報を提供する。

8 会議等への参加

関係機関・団体等の主催する会議に出席し、本協会・農業法人として意見を述べるほか、研修会に積極的に参加し自らの経営のスキルアップを図る。

《委員等への就任：役割を分担》

- ◇(公社)秋田県農業公社理事 桜田会長 (R5.6～7.6)
- ◇秋田県農業再生協議会委員 藤岡副会長
- ◇秋田県農産物流通販売戦略推進会議 田村副会長
- ◇秋田県農業経営・就農支援センター(経営戦略会議) 桜田会長

- ◇秋田米新品種ブランド化戦略本部本部員・部会員 田村副会長
- ◇秋田県農業労働力サポートセンター委員 桜田会長
- ◇秋田県6次産業化推進協議会 田村副会長
- ◇秋田県普及指導活動における外部評価委員 桜田会長
- ◇農林水産研究イノベーション推進協議会《県農林政策課》 藤岡副会長
- ◇秋田県外国人材の受入れ・共生に係る連絡協議会 藤岡副会長
- ◇秋田版スマート農業モデル創出事業コンソーシアム《県立大学》 桜田会長
- ◇東北ブロック6次産業化推進行動会議 構成員
- ◇東北地域農業特定技能協議会運営委員会 構成員

9 その他

- ① 活動内容やスケジュールは、役員会で協議する。
- ② 会員の活動への支援や、賛助会員等の各種事業及び催事への協力を行う。